

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第2回行田市郷土博物館協議会
開 催 日 時	平成27年2月18日（水） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前11時15分
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室
出席者（委員） 氏 名	小野田誠 出川洋 大澤弘 永沼規美雄 鈴木征子 若松良一 大山能則
欠席者（委員） 氏 名	漆原亮 宮本伸子 板垣時夫
事 務 局	館長 高橋秀男 副館長 鈴木紀三雄 主任 浅見貴子 主事 澤村怜薫 飯塚千絵
会 議 内 容	平成26年度下半期事業報告 平成27年度事業計画 その他
会 議 資 料	平成26年度第2回行田市郷土博物館協議会次第 平成26年度第2回行田市郷土博物館協議会資料
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民憲章唱和</li> <li>* 館長あいさつ</li> <li>* 会長あいさつ</li> </ul>
事 務 局	<p><b>議 事</b></p> <p>それではこれより議事に入る。進行は会長にお願いする。</p>
会 長	<p>議事に入る前に、本日の協議会については公開をお願いしている。公開について異存はないか。</p>
委 員	<p>公開としてよい。 (傍聴人なし)</p>
会 長	<p>また本日の議事については議事録を作成する予定である。議事録の最後に確認の御署名を2名の方にいただきたいと思う。この場でどなたかにお願いしたいと思うが、事務局より提案はあるか。</p>
事 務 局	<p>それでは、名簿の順番で大澤委員、出川委員にお願いしたい。</p>
会 長	<p>事務局の提案でよろしいか。</p>
委 員	<p>よろしい。</p>
会 長	<p>それでは、大澤委員、出川委員にお願いする。 では、次第に従って議事に入らせていただく。 始めに(1)の平成26年度下半期事業報告について事務局より説明をお願いする。</p>
事 務 局	<p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明) (事務局より、館蔵足袋資料の国登録有形民俗文化財への登録について補足説明)</p>
会 長	<p>行田市郷土博物館所蔵の「行田の足袋製造用具及び製品」が国登録有形民俗文化財に登録される話が話題になっているので、その</p>

委員	<p>関連で何か御意見御感想や御質問はあるか。</p> <p>今後の活用、発表予定や計画について教えてほしい。</p>
事務局	<p>登録有形民俗文化財は、指定文化財に比べ、文化財保護の規制が厳しくない。例えば、国指定文化財は、博物館から持ち出すのに文化庁の許可が必要となる。登録有形民俗文化財はそのような許可が必要ない。学校に持って行き、展示することも可能である。今回の登録を機会に、活用に関しては今まで以上に広がると考える。次に展覧会についてだが、今回は、足袋製造用具及び製品が登録の対象になったが、当館には、足袋商の経営関係の資料が非常に多く所蔵されている。江戸時代の足袋屋の古文書や明治、大正、戦前期の足袋屋の経営関係の資料などである。また、市内には足袋蔵、足袋工場が残っている。今後調査を進め、行田足袋製造用具や足袋屋の経営の歴史も含めた行田足袋の歴史の展覧会を開催したいと考えている。当館は以前に、日本の足袋の文化に関して企画展を開催したことはあるが、行田足袋の歴史に絞った展覧会は今まで開催したことはない。これを機会に準備を進めていきたい。</p>
会長	<p>他にこの関連で何かあるか。</p> <p>早速今後の方向についても説明いただきありがとうございます。</p> <p>この関連で、これがマスコミに報道されてから、足袋工場等の足袋関係の方々や来館者の反応はいかがであったか。</p>
事務局	<p>マスコミで大きく報道されたので、このニュースを見て、翌日、翌々日くらいにお見えになる方もいた。また、服飾関係の方は行田が足袋の産地であることはご存知であったが、常設展示室に展示してある江戸時代の足袋がニュースで取り上げられたのを見て、遠くから見学に来られる方もいた。あとは、新聞報道には、伝統工芸士として技術を受け継いでいる方のコメントが出ている。いずれにせよ、足袋の技術関係は後継者が少ない。国が民俗関係の資料を文化財にするというのは、保護の目的で行うことがあるので、当館としてもそういったことも含めて技術関係の記録をこれからもとっていかねばならないと考えている。</p>

会 長	他にはあるか。それではとりあえず登録関係についてはここまでにする。下半期事業報告について協議していきたいと思う。
委 員	本年度は寄贈資料が豊富だが、受け入れ先はどのようなところからいただいたのか、また中村容山とはどのような人物か教えてもらいたい。
事 務 局	中村容山は、行田市出身の書家である。弟子の方から寄贈の申し出があった。また本年度寄贈資料の半分くらいは忍藩士関係のものである。佐々木玄龍というのは阿部家に仕えた書家である。忍藩士芳川家関係資料は芳川波山の子孫の方からいただいた。棟札は、忍高等女学校などの古い建物の棟札である。脇差については芳川家伝来の刀剣である。また、寄託資料の岡村新三郎は、明治期の埼玉県自由民権運動で活躍をした人物で、国会議員もやっている。この岡村新三郎に関する資料がまとめて寄託された。その一部は現在、埼玉県立歴史と民俗の博物館で開催されている企画展「埼玉の自由民権」で岡村新三郎日記などが展示されている。埼玉の自由民権を語る上では欠かすことのできない古くから知られていた資料である。
会 長	今年度の企画展「麦の文化誌」では、私も何件か回ってポスターを貼らせてもらった。 （１）の平成２６年度下半期事業報告については終了する。次に （２）の平成２７年度事業計画について事務局より願います。
事 務 局	（事務局より、資料の説明）
会 長	説明ありがとう。それでは、御質問御意見をいただきたいと思う。
委 員	平成２７年度事業計画についてだが、行田の足袋が登録有形民俗文化財に登録されるということで、先程事務局から足袋に関する展示も考えているという説明があったが、とりあえず平成２７年度についてはやらないのか。
事 務 局	１年間準備期間をいただいて平成２８年度に実施したいと考えている。経営関係の資料が膨大にあり、それをきちんと読み込む必

	<p>要があるため、それにかなり時間がかかる。登録自体が決まったのが昨年の12月末であり、その時点で夏のテーマ展の準備が始まっていたので、1年間準備をさせていただいて平成28年の夏あたりに開催できればと思っている。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に何かあるか。 「戦時資料展」を予定しているようだが、これは戦後70年ということで、それを念頭に踏まえてということか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>戦後70年ということ踏まえている。企画展示室はテーマ展を開催するので、ラウンジの空間を利用して戦時資料を展示したいと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>学校との連携ということで、本校でも3年生と5年生がお世話になっている。特に、来年度も「むかしの暮らし」の展示を継続して行っていただけるということで感謝している。本校では、10月の終わりに地域の方が来て洗濯板体験を行い、1月には七輪の火おこしをやる。そして2月には博物館で実際に見て回るという形で行っている。なので、引き続き行っていただけるのはありがたい。実はそこに保護者が来ると、懐かしがったり知らなかったりし、保護者のほうが夢中になってしまう。学校は1年のサイクルで動いているので、博物館の展示で完結できている。今後も続けてもらいたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>本当に小中学生は博物館に大変お世話になっていると思う。来年度の企画展に予定している相撲の展示についてだが、今朝テレビを見ていたら相撲が取り上げられていた。今、相撲がブームなのだそう。初場所は15日間連続で満員御礼だとか。最近女性で相撲に熱が入っている方が多くなってきているようで、非常に良いことだと思う。行田でも江戸か明治時代あたり、北河原に強い力士がいたようだ。昭和に入って戦前から戦後にかけては、谷郷にすごく体の大きい力士がいたそう。体に故障があり、十両までは上がれなかったらしいが、私が子供の頃も力士を見かけたことがある。このように行田でも結構力士だった人もいるので、近代、明治期の行田から出た力士のことを調べられたら、取り上げていただけると身近に感じられると思う。</p>

委 員	私も谷郷に大きな力士がいたと聞いたことがある。あまり上には上がれなかったようであるが。
会 長	それでは可能であれば、お願いしたい。 他に何かあるか。
委 員	毎年展示換えがされるので拝見している。来年度は楽しそうな題材になっており、期待しているのでよろしく頼む。
委 員	「のぼうの城」の影響力は落ちてきているのか。
事 務 局	映画公開から2年3ヶ月が経ったので、入館者はだいぶ落ち着いてきたと思う。昨年1、2月は平日でも100人を超えるような日が続いていた。今年は、団体が入ると別だが、平日だと2ケタが多い。ただ、行田の知名度は上がったと思う。「のぼうの城」や「忍城」というのは今でも強く記憶に残っていると思われる。昨年10月に熊谷市で日本史の大きな学会があり、当館の職員も協力した。全国から日本史の研究者が集まったが、話をしているとその方々も行田といえば「のぼうの城」というイメージが強く根付いているようだった。一般の方はなおさらかなと思う。
副 会 長	甲冑隊は企画会社に頼んでいるのか。
事 務 局	市の商工観光課が業者に委託して運営している。 やはり1つの大きな宣伝効果になっていると思う。
委 員	先日テレビでもやっていたが、甲冑隊というのが全国で根付いているようだ。
事 務 局	他の自治体でも業者に委託してやっているところがあるようだ。 ボランティアでやっていくのはなかなか難しいと思われる。
会 長	ではよろしいか。(2)平成27年度事業計画についてはこれで終了する。 (3)その他については何かあるか。

事務局	特にない。
会長	それでは、以上で議事は終了する。皆さんの御協力でたくさん貴重な御意見をたくさんいただきありがとうございます。では議長をおろさせていただきます。
事務局	本日は長時間にわたり御審議いただき感謝する。それでは閉会の御挨拶を副会長よりお願いしたい。
副会長	あいさつ